

広域的長期浸水（湛水）・液状化被害による長期孤立が予測される海拔ゼロメートル地帯における災害時福祉医療連携ネットワークモデルの作成を目指した調査研究事業 活動実績

1 海拔ゼロメートル地帯災害時福祉医療連携ネットワーク検討委員会・作業部会の設置

- ・ 第1回検討委員会・第1回作業部会 令和6年10月1日（火） ※合同開催
- ・ 第2回作業部会 令和6年10月18日（金）
- ・ 第3回作業部会 令和6年11月15日（金）
- ・ 第2回検討委員会・第4回作業部会 令和6年12月5日（木） ※合同開催
- ・ 第3回検討委員会・第5回作業部会 令和7年1月24日（金） ※合同開催
- ・ 第4回検討委員会・第6回作業部会 令和7年2月25日（火） ※合同開催

2 災害時組織連携体制における情報発信・共有体制の整備

施設・市町村・都道府県別に行動方針を定め、被害情報収集様式・一覧表を作成するとともに、情報共有が迅速に行えるアプリを開発し、効果的支援を図れる災害時保健医療福祉情報連携ネットワークシステム（D H-W ins）を整備した。

3 海拔ゼロメートル地帯高齢者介護施設災害対策実態調査の実施

2「災害時組織連携体制における情報発信・共有体制の整備」で作成した被害情報収集様式・一覧表の内、「市町村内施設被害予測一覧表」のデータベースとして、また、災害へのあるべき備えの提言のため、海拔ゼロメートル地帯高齢者介護施設の災害対応施設機能、備蓄状況等の実態を調査した。

- ・ 調査期間 令和6年11月1日から令和7年1月8日
- ・ 対 象 海拔ゼロメートル地帯を有する愛知県西部4市2町1村に属する高齢者介護入居施設77施設（愛知県介護サービス情報公表システム登録事業所）
- ・ 集計分析 各施設の災害リスク予測について、ハザードマップによる津波浸水高や液状化危険度を実態調査結果と照合し算定した。（期間：令和7年1月9日から1月24日）
- ・ 結果報告 令和7年1月24日（第3回検討委員会・第5回作業部会）

4 能登半島地震高齢者介護施設の対応に関する視察調査の実施

海拔ゼロメートル地帯においても南海トラフ地震等激甚災害ではライフライン停止を伴う長期孤立状態が生じることから、能登半島地震時における被災地外避難搬送が行われた要因を調査するため、石川県庁、輪島市高齢者介護施設を訪問し、聞き取り調査を実施した。

- ・ 視察期間 令和6年10月24日（木）及び10月25日（金）
- ・ 視察対象 石川県庁、輪島市高齢者介護施設、珠洲市・輪島市被災場所

5 事業内容検証のための実証訓練の実施

2「災害時組織連携体制における情報発信・共有体制の整備」で作成した、各種一覧表・集計表及び情報共有が効果的に運用できるよう開発・作成したアプリ・情報共有マニュアル（案）を活用した実証訓練を実施し、検証会により効果・改善点を抽出した。

- ・ 実施日時 令和7年1月24日（金）午後1時から午後4時30分まで
- ・ 訓練会場 稲沢商工会議所（愛知県稲沢市朝府町15-20）
- ・ 参加者 59名
 - ・ 海拔ゼロメートル地帯高齢者介護入居施設職員
 - ・ 市町村及び県危機管理・福祉・保健医療担当職員
 - ・ 訓練協力者 等

6 災害時保健医療福祉情報連携ネットワークシステム行動計画（D H-W ins ap）の作成

上述1～5の活動を踏まえ、社会実装となるシステム構築を図るため、「災害時保健医療福祉情報連携ネットワークシステム行動計画（D H-W ins ap）を作成した。

D H-W ins apでは、施設編・市町村編・県編から成り、各機関の役割、アプリを活用した判断基準・行動計画を明示している。